

## 甲賀市水口医療介護センターのあり方検討にかかる意向調査回答状況まとめ

- ・照会した市内43医療機関のうち、回答があったのは25機関。
- ・明確な意向(◎)は1機関、条件次第で検討の意向(○)は2機関より意思表示があった。
- ・意思表示のあった3機関に対しては、事務局より聞き取りを実施した。

### 「意向あり」医療機関からの意見

	意向調査への記述内容	聞き取りの概要
A ( ○ )	地域医療を支えるという観点からは、Aとして、何らかの協力を考えたいところです。 少なくとも外来診療や初期救急(土日祝日・時間外)は、独立採算面からの継続は不可能ですので、在宅医療と訪問看護は地域のニーズに見合った規模で運営することが必要です。ささゆりの施設については、基幹工場が多い甲賀市の地域特性に応えるため、企業健診の拠点となる健診センター構想はどうかと考えております。	Aとして、甲賀市、湖南市の市立医療機関との連携は非常に重要であると考えており、何らかの協力を行いたい意向はあるが、経営への直接的な関与となれば、法人の意思決定に課題がある。 当院として在宅医療を担う医師を確保することは、現実的にかなり困難である。
B ( ◎ )		意向調査での想定と同じような考えを持っている。 在宅医療を実践している立場から、市域の在宅医療の拠点となる施設があればと思っていた。 ささゆりの施設構造を詳しく知らないが、現状29床あるならば、例えば介護医療院あるいは有床診療所(19床)+ショートステイ(10床)を設ければ、困難事例の受け入れも可能と思う。 体制が整えば病児保育なども実施できると思う。 不採算部門を担うには公費の支援が必要だが、それに見合った役割を果たしていく必要がある。
C ( ○ )	人づくりを通じて効率を上げる。	スタッフにはもっと頑張ってもらわないと。 地域貢献として関心を持っている。 利益追求の考えはなく、赤字にならない程度にやっていたらいい。 自分で一から借り入れを起こして事業を行うのは大変だが、既存施設が活用できるならば、色んなやり方がある。 面白そう。案を考えたい。

### 「意向なし」医療機関からの意見

看取り、代診、レスパイト入院について連携したい。
土日祝日・時間外の初期救急→甲賀湖南医師会がかつて休日診療所がありました。 人手は多くかかっても、患者さんが少なく、しばらくして中止になりました。 案①:臨時のコロナ検査センター 案②:名のあるDrを招き記念病院とする 案③:甲賀病院、甲南病院のサテライトとする 案④:水口病院のサテライトとする ◎まずは甲賀病院小児科の1人常勤の改善をはかることが先決です。 ④がbetterと思われる。精神診療総合センター 多様な老人性うつ、精神疾患に対応する。 (現在の常勤の方にも残っていただける。無理な場合は滋賀医大内科総合医を派遣してもらう。)
要請があれば連携も検討させていただきます。
仮に不採算であっても小児の予防接種や乳児・幼児の健診は本来、行政が実施主体の事業です。水口市民病院以降からこれらの事業や、さらには小児の外来診察までが整理の対象となってしまうのでしょうか。甲賀病院ですら常勤医が減ってしまった現在、地域の小児医療の弱体化が進まないかという点に不安を覚えます。
在支診24時間対応の拡充、レスパイトの人数増員を希望する。
財政的、人的資源を考慮するなら甲賀病院へ集約化すべき。
日曜・祝日や時間外の一時救急対応、小児救急対応、在宅医療の代診などで連携を図りたい。
これまで通りの連携の維持をお願いします。